

第95回全道メーデーが開催される



5月1日、大通公園8丁目広場で開催され、約3000人が参加し、JR連合・JR北労組と共に貨物鉄産労北海道地区本部組合員が参加しました。

メインスローガンに「連帯の力で平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！」を掲げ、式典では連合北海道須間会長が、「2024春闘では、一部では賃上げが実現しているが、物価上昇には全く追いついていないと訴え、すべての働く仲間が賃上げを実感しなければ本当の賃上げとは言えない」と呼びかけ、また、次期衆議院選挙に向けては「12選挙区の推薦候補予定者全員の当選に向けて選挙態勢の確立を進めていく」と挨拶がありました。

来賓挨拶では、立憲民主党泉健太代表が駆けつけ「皆様の生活向上のために、頑張っていく」と力強く挨拶され、最後にメインスローガンとメーデー宣言・特別決議案が採択され、団結ガンバローを三唱し、3つのグループに分かれてパレードを行いました。

メーデー終了後、5年ぶりに「JR連合在札協議会交流会」が市内で開催され、限られた時間で大いに盛り上がるなか、JR議員団の道議・市議、国会議員からの挨拶を受け盛大な拍手で歓迎しました。交流会の最後は、在札協議会副議長の菊地委員長の乾で終了し、JR北労組・貨物鉄産労の両組合員が楽しいひと時を過ごし、参加者それぞれが職場で奮闘することを確認しあいました。